

幸野レター



2016.3月 第28号

◆逆流性食道炎のおはなし

本来胃酸は食道へは逆流しないように食道と胃のつなぎ目はしっかり閉まっています。しかし加齢や過食などで食道と胃のつなぎ目がゆるくなる事があります。逆流性食道炎とはまさに胃酸が胃から食道へ戻ってくる状態です。胃酸は強い酸で胃は荒らしませんが、食道は荒らしてしまいます。胸焼けが主な症状で、欧米では非常に多くの方が治療を受けており、日本でも急増しています。以前は高齢者で背骨の曲がりによるものが大半でしたが、現在は過食などで若年層にも多く発生しています。食生活の見直しをまず行いますが、胃酸を抑える薬で治療せざるを得ないケースも増えています。診断は胃カメラで行うことができます。

◆区の健診で生活習慣病を予防しましょう

特定・長寿健康診査は世田谷区が実施しています。生活習慣病（高血糖・高血圧・脂質異常）を予防するために、その大きな要因である内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）を予防、早期に改善するための制度です。その他にも肺がん検診（レントゲン・痰の検査）、大腸がん検診（便の検査）も行なうことができます。

今年度の世田谷区健康診断は有効期限が3月までとなります。すべて利用しやすい負担金になっていますので、まだお受けになっていない方はぜひ特定健診を受けましょう。

発行 幸野メディカルクリニック

TEL03-3483-1808（代表）

TEL03-3483-8976（ドック・健診）